

比田井先生から学んだこと

進路指導主事 石原 俊明

先日行われた全人教育講演会の比田井和孝先生の講演を拝聴し、先生は『誠意』の大切さを述べられました。『誠意』は、相手を「思いやり」相手に「与えるもの」で『行動』となって現れる。ディズニーランドで娘さんを亡くされた両親に接客規定にないお子様ランチを出した社員の实話はその究極の例だと言えます。就職ではコミュニケーション能力の重要性が良く言及されます。相手に明るく滑舌よく話すこともいろいろな世代の方と円滑に人間関係をつくっていくことも含め、相手や周囲のことを思いやり、『誠意』ある『行動』を行っていくことこそが真のコミュニケーション能力だと思いました。



特集 埼玉県警察 合格体験記

今年度、本校は公務員試験合格者6名を輩出する快挙を成し遂げる中で、1月下旬に埼玉県警察に福原謙君が合格しましたのでインタビュー形式の合格体験記を特集します。正確な倍率は非公表だそうです、10倍～15倍と埼玉県警察の警務課の方がおっしゃっていました。

問：合格するために努力したことは何ですか？

答：公務員講座に参加しました。公務員講座で使用したテキストは大変役に立ちました。公務員試験の「判断推理」「数的推理」「資料解釈」の問題は、高校の授業では行わないので、その解法を丁寧に教えていただき、大変ためになりました。社会、理科、数学なども、公務員試験では独特の解き方があり、それを習得することによって、問題を解くことができるようになりました。

問：独自の努力はどんなことをしましたか？

答：現役の警察官の方にアドバイスを求めました。私は野球部に所属していて、柔道や剣道や空手といった武道はやっていなかったのが不安でしたが、相談したら「問題ない」と言われ安心しました。また埼玉県の情報収集のためフィールドワークを行いました。実際に埼玉県に行って、埼玉県警察本部に行き、その周辺をよく見て回り、面接で何を聞かれても答えられるように場所の状況を調べました。分かったことは、道路の交通量が多く、自転車は車両扱いなのでほとんど歩道を走っておらず、歩道を走る自転車も歩行者に大変気配りをしていたということです。またインターネットで埼玉県の事件の件数を調べ、どんな事件が多いか調べました。その結果自転車の盗難が多いことがわかりました。

問：受験勉強はどれくらいしましたか？

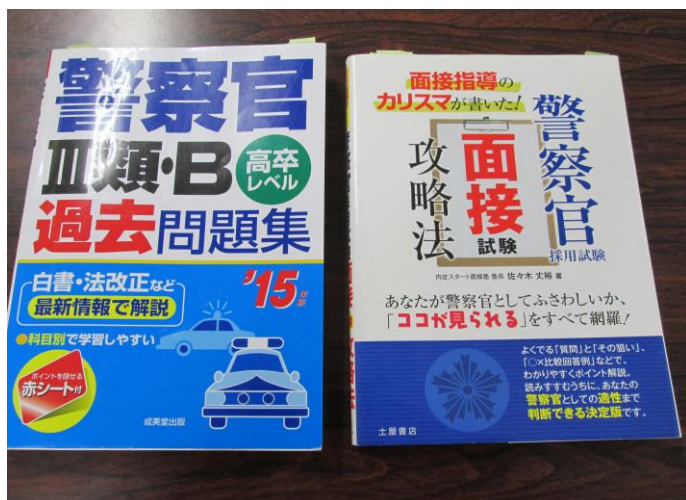
答：普段の日は、帰宅後に毎日3時間は学習し、夏休みは毎日5時間、勉強しました。

問：後輩へのメッセージがあったらお願いします。

答：警察官を目指すには、まず親の同意が必要なのでよく親と相談してください。公務員試験は1次試験を合格しないとどうにもならないので、筆記試験の教養をしっかりと身につけてください。試験に向かって「段取り八分、仕事二分」という言葉があるようにしっかりと準備することが大事で、この教訓は試験の時も社会に出てからも大切になると思います。

問：使用した参考書と問題集は何ですか？

答：「成美堂出版 警察官Ⅲ類・B 過去問題集」「土屋書店 警察官採用試験 面接攻略法」



看護

特集 准看護学校 合格体験記

今年度、高等看護学校の「国立病院機構高崎総合医療センター附属高崎看護専門学校」に2名、准看護学校の「前橋准看護学校」に2名、「吾妻准看護学校」に2名、「沼田准看護学校」に5名が合格し、看護系希望の生徒は全員が合格を果たしました。高崎総合医療センター附属高崎看護専門学校、並びに前橋准看護学校の合格体験記は12月号に掲載しましたので今月号では沼田准看護学校、吾妻准看護学校の受験報告書より合格体験記を掲載します。

【沼田准看護学校】

新校舎ができたという点と、教室にゴミ箱がないことから、とても清潔感のある学校であるイメージを受けました。試験官の方が応援してくれたり、時計が見えるかどうか、また寒くはないかなどと気遣ってくれたり、とても試験を受けやすい雰囲気でした。受験科目は国語と数学、そして作文（400字）でした。

【吾妻准看護学校】

漢字練習をたくさんした方がいいと思いました。また作文はどんな題でも書けるように練習しておいた方がいいと思います。試験では、32人受験者がいるなか高校生は7人しかいませんでした。9時半集合でしたが、10分前に行ったら皆もう席についていたので、もっと早めにいけばよかったと思いました。電車で行くと、中之条駅から歩いて10分弱かかります。試験会場では、話をしている人はおらず、休憩時間でもみな勉強をしていました。挨拶もしっかりとできた方がいいと思いました。

〈見聞録コーナー〉

【川場村社会福祉協議会 本校ホッケー部OB 高橋照夫さんのお話】

『仕事内容』は、主に高齢者の介護で、トイレの排泄介助、食事介助、入浴介助など。『やりがい』は、高齢者の方々は加齢に伴い身体が思うように動かなかったり、重病を患い麻痺があったりして、日常の生活を不便している、その方々の不足の所を埋められていると思えること。『嬉しいこと』は高齢者の方々とふれあい笑顔で交流できること。『悲しいこと』は、仕方がない事だが、体調を崩し入院や施設に入所されてしまい、会えなくなった時。『高校生へのメッセージ』としては、これからも高齢の方が増えます。しかし、介護職に就く人は少なく、介護業界は人材が不足しています。辛い事もありますが、人相手の仕事ですのでとてもやりがいがあります。」